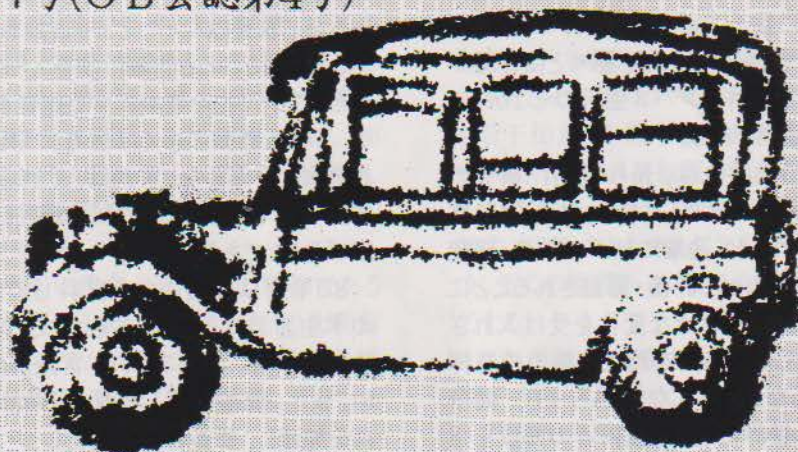






# 流星

第17号(OB会誌第4号)



## 目次

	題字	河村先生	
	イラスト	伊東	(44)
巻頭言 技術者に求められる素養	責善会自動車部顧問	原田	(教授) 2
ご挨拶 75歳の健康法	自動車部OB会会長	松尾	(25) 3
主将挨拶 先輩のみなさまへ	責善会自動車部主将	徳永	(3回生) 3
部活動報告・新年度活動計画			4
OB会連絡担当あいさつ	国吉	(2回生)	4
新部員・入部の動機、決意など	自動車部	1回生	4
雑感 夢は「部車」	藤川	(3回生)	5
部員名簿・卒業者名			6
～総会特集～			
平成17年度 総会を終えて	副会長・中京地区幹事	中野	(25) 6
明専・九工大OB会総会に初参加	特別顧問	徳尾	7
第3回明専・九工大自動車部OB会総会開催	中京地区副幹事	高橋	(38) 7
OB会総会準備委員会活動報告	中京地区・総会準備委員会	山本	(46) 8
『OB会総会』準備～総会当日	17年総会会計	御領	(H2) 9
自動車部OB会役員会・総会議事録	総会書記	山本	(46) 9
自動車部OB会会計報告・決算・予算	OB会会計担当	嘉村	(33) 10
追悼 新荘先生の思い出	城	(29)	11
追悼 自動車部OB会元幹事川崎 氏(32)を偲ぶ	部誌担当	嘉村	(33) 11
総会写真			12
自動車部OB会会員名簿			13
自動車部OB会特別会員名簿			19
編集後記	部誌担当	嘉村	(33) 19

九州工業大学責善会自動車部  
明専・九州工大自動車部OB会



## 技術者に求められる素養

責善会自動車部顧問 原田

技術に堪能な士君子の育成という高邁な校訓を掲げ、学生と教職員が共に学内宿舎に住んで少数精鋭の全人教育を目指した、本学の前身、私立明治専門学校が創立されてまもなく100周年(2008年)を迎える。3つのキャンパスに数千人が学ぶ、マンモス化した現在の九工大に昔の面影はないが、脈々と受け継がれてきた明専魂が日々のキャンパス生活のそこかしこに息づいているのも確かである。

外部の干渉を嫌う大学人は、長らく教育・研究の自由と言う御旗に守られてきた。しかし、昨年国公立大学が独立法人化されると、途端に日々の教育・研究が外部の第三者機関によって評価・認証されることになった。時代の流れと悟り、大きな変化を受け入れざるを得ないが、今の大学人の力を超えた能力の発揮が求められているような気がしてならない。曰く、競争的外部資金の獲得、世界に通じる技術者の育成を担保する教育プログラムの構築、産学連携の推進、他の教育機関との連携による工学教育の推進、産業の創生役としての新技術の開発による社会貢献、等々、スーパーマンでもできないようなお題目が並んでいる。大学の使命の大きな部分が教育にあるとすれば、これらの題目に振り回される余り、教育が留守になることを危惧する。

さて本学も大学院進学者が増え、約6割が進学する。学部、大学院を通じての6年間一貫教育の教育方針を早急に打ち立てるべきであるが、未だにはっきりしたものはない。学部では一般教育+専門基礎、大学院では専門教育、数学公式のように役割は決まっているが、入門と応用の間に明確な区別はない。これらに加えて最近では、人間力が強く求められている。人間力は明専校訓の徳育に相当し、社会人としての常識、言葉使い(敬語)、コミュニケーション力、リーダーシップ、使命感、等々、知育以外のすべてを含むこ

れからの技術者に強く求められる人間としての素養である。

私が最近主張しているのは、人間力を高めるために必要なこと、つまり、教養である。日本人には学歴はあるが、教養はない、とよく言われる。教養とは何ぞや、と質問されると的確には答えられない。私なりの解釈として、人生を豊かにする座標軸のようなものである。この座標軸の多くは思考に関係し、それをさらに思考軸と呼ぶものとすれば、それらを増やすには、先ず先人に学ぶこと、端的には読書して、好奇心の幅を広げることである。

80年度以降続いた入試科目の負担軽減で、現在の学生諸君は、国語(含む古文、漢文)歴史、地理、政治経済、-----、について常識がなく、また関心も低い。また、携帯電話、漫画、パソコンが若者の活字離れを加速し、読書習慣が退化しつつある。技術革新が益々加速される今日、時代の変化に柔軟に対処できる技術者の需要が高まっている。それには、就職後も、自身の興味の対象や関心の幅を広げるための努力をすべきで、手っ取り早くは、月々最低何冊の本を読む、と目標を定めて精進すべきである。私は数年来、ピッチを上げて本をよみ、年間100冊は読んでいる。

本拙稿を閉じるに際し、英国の著者C. P. スノーが1959年に行った講演「二つの文化と科学革命」で、西洋文明の知的活動が“文系”と“理系”の派閥化を進行し、お互い無理解、無評価になっているという警告を発し半世紀経っていることに触れておく。最近文理融合という言葉が盛んにPRされている。いろいろなことに興味を持ち、発想豊かな技術者になるためには、理系人間はもっと文系人間の活動に目を向け、理解すべきである。

工学部機械知能工学科教授



第三回明専・九工大自動車部OB会総会学歌斉唱



## 75歳の健康法

自動車部OB会会長 松尾 [ ] (25)

早くも流星第17号の発行となった。編集者から「会長挨拶を書いてくれ」といわれて、はたと筆が止まってしまった。OB会の会長挨拶とはなんと面白くないものか。でき上がりが見えるからである。ここでは無難なところで健康談義に花を咲かせることにした。

ところで日本では、2007年からいよいよ少子高齢社会となり、人口が減っていくらしい。日本の推定人口は、2030年には1億790万人、2050年には8,480万人と2000年よりそれぞれ14%、32%減と言う。敗戦後このかた人口減を経験したことがない異次元の世の中に突入しつつある。

さて、私は昭和5年に現在の北朝鮮の首都である平壤で生まれた。当時、日本は朝鮮半島(今の北朝鮮と韓国)を領有し、私の父が就職していた南満州鉄道(略して満鉄)は、北緯38度線以北を管理していたのである。

それからもう75年になる。昭和初期は激動の時代であり、一人ひとりの人生は小説よりも振幅が激しく、よくも生きぬいてこられたという感慨でいっぱいである。

ここで私の健康法を披露しよう。

朝起きると直ぐ、手と足を上に突き上げてできるだけ早く振動を与える。手先と足先には人体の7割の毛細血管があり、35億本にもなるという。この加振によって、静脈から心臓への血流が勢いよく動き出し、すっきりした目覚めになる。

次に両手指先を首に当て、両手ひじをてこにして足先を約10センチほど持ち上げ水平にゆっかゆっかと揺らす。これは西式健康法による「金魚運動」である。起き上がってからは、金魚のような動きをすることはない。この運動がどうして良いかというと、体の中心線が横方向に弓なりになることで腸内の宿便が落ち、腹筋が強くなって内臓がひきしまる。これで五体が健康になるという。

次に、両足のひざをゆるめて床から20センチ程引き

上げ、腹筋を使って上体を起こす運動を10回繰返す。これも内臓を強くする効果がある。

この3動作によって、朝の一連の軽い運動を完了する。

起床したらずぐ、ミキサーにバナナ1本、ニンジン半本を包丁で切り、その上に青野菜(今は裏庭に自生する青しその葉)とレモン半分を入れ、蜂蜜やオリゴ糖を若干加え、牛乳や豆乳を適量入れて二人分のジュースを作る。これが毎朝の私の仕事である。

このジュースを飲むと、40分もしないうちに便意を催す。快便のききめあらたかである。気が向いた時には、近くの福岡ドームまで約1時間コースをウォーキングする。

これが私なりの健康法である。毎日継続することで体のバランスがとれてくる。

平成13年の3月頃、ヒトゲノム解析の一部が発表された。国際コンソーシアムの「ヒトゲノム計画」とセラ・ジェノミクス社の双方とも、人の遺伝子は3万個程度という。人間は万物の霊長だから遺伝子はもっとあると考えられていたが、予想が裏切られて3万個程度におさまった。

人体は60兆個の細胞と3万個の遺伝子に支えられて生きている。これらのバランスや機能よろしきを得て75歳まで生きてこられたことになる。

このごろ痛切に思うことは、自分自身の健康な体を造っていただいた両親と何代も前からの祖先に対するせい一杯の感謝の気持ちである。また今まで縁あって交際してきた周囲の方々や物に、自分は生かされてきたのだという感慨である。有難いという言葉はこういう時に使うと実感がこもる。

我々、明専・九州工大自動車部OB会は、それぞれ縁に結ばれて組織を作った。

お互いの来し方行く末を語り、健康談義を交換し、人生を語りながら心を癒すのも、健康長寿の秘訣だと考える。

### 主将挨拶

### 先輩のみなさまへ

先輩の皆さまにはご清勝のこととお慶び申し上げます。私は今年第64代主将を務める [ ] 3回生の徳永

貞善会自動車部主将 徳永 [ ] (3回生)

英之と申します。

現在の自動車部は部員20名で、そのうち新部員が7



名入部しました。近年心配していた入部する新入生の減少もなく、車庫が一層賑やかになったことにとってもうれしく思っています。

私が自動車部に入部したころほとんど何も知らない自分に先輩方が温かく指導していただいたことが、とてもうれしくありがたく今にも鮮明に残っており、次は自分が伝えていかなければならないのだと感じております。

また、今年9月に開催されるOB会総会の方に出席することを考えております。先輩方のいろいろなお話を聞け

るのを楽しみにしているのと共に、現在の自動車部についても知っていただき、アドバイスをいただけたらと思っています。そして他の部員達にも、この流星やHPを見たり、直接お会いしたりすることで、OBの方々との交流を深められたらと思っています。

これからも先輩方の築いてこられた実績と教わった技術を衰退させることのないよう練習に励んでいきます。

今後とも先輩方のご助言、ご協力よろしくお願いたします。

## — 報告 —

### 部活動報告・新年度活動計画

#### ★2004年ラリー

8/7 JMRC九州ラリー Jr シリーズ第4戦  
ACTY Aクラス 2位  
10/2 JMRC九州ラリー Jr シリーズ第5戦  
CRMC Aクラス 1位

#### ★2004年ジムカーナ

4/25 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第2戦  
スーパートリアル in 三井2004 B1クラス 6位  
6/6 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第4戦  
ペプシ CUP マイカーチャレンジフェスティバル  
B1クラス 5位

7/4 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第5戦  
Team CCSU ジムカーナ2004 B1クラス 8位  
11/7 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第8戦  
RASCAL 2004 ジムカーナ B1クラス 4位  
DANLOP クラス 9位

#### ★ 2005年 年次計画

4月 入学式・部員勧誘  
5/14～15 ACK SPRING RALLY  
11/12～13 KIT NIGHT RALLY  
11/19～20工大祭  
12月 山口大・常盤祭ジムカーナ  
3月 追い出しコンパ・卒業式

## — ご挨拶 —

### OB会連絡担当あいさつ

国吉 ( 2回生)

この度徳永さん(主将・ 3回生)から、OB連絡員を引き継ぎました、 2回生の国吉 と申します。

今後「流星」や、OB会に関する自動車部の窓口は

自分が担当します。よろしくお願いたします。

## — ひと言 —

### 新部員・入部の動機、決意など

自動車部一回生

石原  
自分が、自動車部に入部した動機として、一つは以前から「将来自分の車を持ったときにきちんと整備が出来るようになりたい」と思っていたからです。もう一つは、小さな頃から、機械が好きで、「内部の構造が知り

たい」と思っていたので、日本が世界に誇る技術を集めた車という機械について詳しく知りたいと思ったからです。何か一つでも多くのものが得られるように、先輩方のご指導の下で、知識や技術をしっかりと受け継ぎ、早く一人前になりたいと思います。



そしてこの九州工業大学での生活をより充実したものにしていきたいと思うので、よろしくお願いします。

岩本

自分が、自動車部に入部したのは、自動車の特にエンジンが好きだからです。車の心臓であるエンジンを見るといつもその構造をこの目で見てみたいと思っていました。また自動車部に入ったからには、先輩方のようにラリーなどの競技に参加してみたいと考えております。

今年是一回生が自分を含め7名も入部したので、他の一回生に負けないように努力を惜しまず、技術では結果を残せるよう、整備ではエンジンに手を加えるくらいまで、自分の技術を磨いていきたいと思っています。自分は夜間生なのですが、積極的に車庫に顔を出して先輩方から技術を盗んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

桑原

自分が、自動車部に入部した理由は、車の整備に興味があったからです。そのため、各競技のことについてはあまり知らなかったのですが、色々な競技に連れて行ってもらうちに自分も競技に参加したいと思いました。今は免許さえ持っていないのですが、自分の車を持ってジムカーナに出るためにも、先輩から沢山の技術を学びたいと思います。これから多くのご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

原島

自分が、自動車部に入部した動機は、自分が免許を持って、自分自身の自動車を持ったときに、自分だけで基本的なメンテナンスや整備などを出来るようになりたいからです。

しかしながら、自分は自動車部に関する知識を全く持たずに入部したので、これから先輩方の整備を手伝って覚えていくようにがんばっていきますので、よろしくお願いします。

朝長

自分が、自動車部に入部したのは、昔からの夢であるチューニングショップを設立するために必要であると感じたからです。

現在、車や整備の事を詳しく勉強するために車庫には積極的に足を運ぶようにしています。免許を取得してからは自分の車を完全に整備できるように努力します。また、積極的に練習会に参加して腕を磨きたいです。

先輩方には、多々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いします。

花本

自分が、自動車部に入部した理由は、昔から車の整備等の機械をいじることに興味があり、自分の車は自分で整備が出来るようになりたかったのと、自分で整備した車でジムカーナやラリーに出場してみたかったからです。そして、沢山練習して早く表彰台に乗ることができるようがんばりたいです。

松山

自分が、自動車部に入部したからには、沢山の大会に出場し、多くの経験をし、多くの技術を得、多くの仲間と出会い、お互いライバルとなって競い合っていくなかで表彰台をドンドン狙っていきたいです。がんばります！！

いろいろとご迷惑をおかけすると思いますがこれからよろしくお願いします。

— 雑感 —

## 夢は「部車」

藤川 ( 3回生 )

自動車部に入部して3年目、私は今、会計の役職を任されています。部内における部費の管理をして、車庫に必要な工具、消耗品である軍手などを買って、部の活動しやすい空間を作っています。

また、競技に対しても、部員は積極的に参加し、個人で車を持っている人は、ジムカーナやラリーなどのドライバーとして、車を持っていない人もラリーのナビゲーションとして活躍しています。

今年の目標として挙げていることは、他大学によく見る、部車を作り上げることです。部車を作ることで、車を持っていない人でも競技に参加できるし、整備などに関しても積極的に触れることができ、新たな自動車部の形を形成できるからです。だから、今年入部してきた1年生には期待しています。

九工大自動車部に幸あれ！



## 自動車部部員名簿(2005)

役 職	氏 名	年・学科	出身高校	役 職	氏 名	年・学科	出身高校
	石塚	D 1		OB 担当	国吉	2	
	西本	4		車庫整備	倉本	2	
	犬丸	M2		廃車・オイル	平塚	2	
	安倍	M2			石原	1	
	田口	M1			岩本	1	
	西野	4			桑原	1	
監 督	石丸	4			原島	1	
主 将	徳永	3			朝長	1	
ラ リ ー	泥谷	3			花本	1	
会 計	藤川	3			松山	1	

卒業者名	松本	村井	森
------	----	----	---

### 一総会特集一

## 平成17年度 総会を終えて

副会長・中京地区幹事 中野 ( 25)

平成17年度 OB会総会を無事に楽しくかつ盛大にあげることができたことに関係役員幹事、実行委員および遠路はるばるそしてご多忙のなかご参加いただいた会員諸兄に深甚なる敬意を表すると共に感謝の意をこめて一言ご挨拶を申し述べたい。

(1) この総会で計らずも副会長と言う名誉ある肩書きを頂戴した。喜寿を越えた年寄りが頂く地位でなく、若い人に任せるべき肩書きであるからと固くお断りしたが、松尾会長の「若い後輩が活躍できるシナリオを一緒に作ろう」との言葉に納得してお引き受けした次第。中京地区の幹事さん達からも実務は我々がやるからのバックアップ発言もありました。後輩諸君よろしく願いいたします。

(2) 名古屋と言う土地は、明専、九工大と印象が良く似ている。学校卒業後もう55年経ったがこの間の丁度半分をここ名古屋で過ごした私の実感である。

「実力はあっても宣伝下手でおとなしい」。名古屋は戦後の日本を発展させた一大工業地区にも拘わらず「トヨタ」の名前は知っていても名古屋を知らぬ(日本人にはいないと思うが)外国人は多い。明専、九工大も「技術に堪能なる士君子」を多数世の中に送り出しているにも拘わらず、東京に位置するだけの私立大学より知名度が低い。誠に心外にたえない。同窓諸君、奮起しましょう。

(3) ところがこの近年、当地の評価が急速に高まっ

た。昔(30~40年前)は中京地区は日本経済の11%市場(ちなみに九州は9%)と言われていたが現在は25%市場とも言われている。すなわち日本のもの造りの中心、日本の輸出入の一大拠点(名古屋港外)、中部国際空港の実現等々景気の活性化に欠かすことのできないインフラ整備も着々と進んでいる。1980年代後半のバブル景気の復活とまで言われている。

(4) 日本だけでなく世界の“もの造り”中心はここ中京地区であることが次第に明確になってきたが、それを証明するように我々の同窓会(明専会)の総会出席者も年々増加し、ゴルフ、囲碁、明専トランプ大会等々イベントも活性化している。首都移転とまでは言わないが日本の元気の中心はこの地区であることは間違いない。北九州市にあった私のお墓もこの地へ移転させた。

後輩諸君、活気に満ちた中京地区は「技術に堪能なる士君子」の皆さんの参入を大歓迎します。 終



準備委員会のメンバー



## 明専・九工大OB会総会に初参加

特別顧問 徳尾 [ ]

自動車部の学生、と言う言葉からは古びたズボンにTシャツかKITのジャンパー姿で、髪もボサボサ、最近茶髪はいなかったと思うが、こんな感じで、“ラリーの準備の事で・・・”と今年のKIT・ラリーの新役員がやって来る。こちらがどんなに忙しかろうがお構いなし、自分の時間が取れたときが其の時で、事務所でも現場の作業中でも私の仕事の最中にやってくる。彼らもやらなければならない事は、引継ぎ書類等で何となく分かっているだろうが実際に何をどうして良いのかが分からない、先輩たちもこの時期は忙しくて面倒を見てくれない、そこで適当な書類と適当な知識のまま突然やってきて、“管轄警察署の担当に会ってお願いしてきたいと思っているけど何を警察に持って行けば良いのですか。”と突然言い出す。

やる気は分かるが、この驚きと怖さから、もう何十年も私にKITラリーの準備をヤル気にさせられてしまう。

一昨日から、名古屋でのOB会総会に始めて参加させて頂いた。

当時上記の学生とあまり変わりはないと記憶する多くの青年たちが遅く変身した姿で参加していた、日本全国でまた世界各国で企業戦士として10年~20年と戦いながら成長したその言動を目の前にして、今昔の変化に改めて感動し、楽しくも誇らしい気

持ちで時を過ごすことができた。

OB会の連絡誌等でいつもお名前だけ拝見していた学生たちの大先輩諸氏にも初めてお目にかかることができて光栄でした。

先代の流星等で先輩部員の方々の写真も数々拝見させてもらった、古き良き時代それから時は流れて幾星霜、同窓、また部活の先輩と後輩、あちらにも、こちらにも交流の輪ができて歓談が弾むのに時間は掛からなかった。まるで祖父と孫、父と子、ちよっと年の離れた兄弟といったグループの輪、なんとも和やかな雰囲気ですっかり酔った私も楽しく過ごしてしまった。

九工大自動車部OB会を大事にしなければいけない、この輪の中に現役の後輩たちが次々と参加できるように頑張ってもらいたいものだ。

今回の企画組織の方々、お疲れ様でした。葡萄の君、有難う。感謝。

05.9.5

### ★徳尾 [ ] 氏について

徳尾モータース社長・JMRC協議会理事長・昭和42年頃から藤原 [ ] 教授(昭和45~57年部顧問)に請われKITラリーに深くかわり、以後の現役・OBに物心両面の援助を賜る。川越 [ ] (47)坂井 [ ] (52)など国際的にも著名なラリー屋を育てた。同工場の年末餅つき会は帰省途中の自動車部OBのクラス会のような。

## 第3回明専・九工大自動車部OB会総会開催

中京地区副幹事高橋 [ ] (38)

2005年9月3日(土)~9月4日(日)に愛知県豊田市猿投温泉のホテル金泉閣で第3回明専・九工大自動車部OB会総会及び役員会が開催され、31名の出席を得て盛大に実施されました。

①役員会(松尾会長ほか8名・準備委2名)では、役員会総会の成立要件、流星17号の発行、本部役員と地区役員の新役員人事等々について審議されました。また、次回総会の開催は、関東地区で実施との結論も得ました。

②総会(河野氏司会、松尾会長議長)では、開会の辞・歓迎挨拶、会長挨拶、来賓挨拶(原田教授、徳尾特別顧問)、OB会活動報告、役員会報告、会計報告、会計監査報告、役員改選その他が報告されいずれも承認されました。

- ③ 懇親会では乾杯、自己紹介・体験談、学歌斉唱、万歳三唱、閉会の辞。(写真掲)
- ④ 二次会では21:00~01:00と話つきませんでした。
- ⑤ 外湯の岩風呂・露天風呂や5階の檜風呂大浴場に数回入浴された方もいました。
- ⑥ 9月4日はホテルバスで、万博会場、トヨタ博物館、名古屋駅へ送りました。★出席者は、下記31名(内、顧問2名、現役1名、同伴奥様2名含む)でした。  
原田 [ ] (顧問・教授)、徳尾 [ ] (特別顧問)、徳永 [ ] (部主将)、松尾 [ ] (25)・清子、後藤 [ ] (28)・方子、中野 [ ] (25)、廣田 [ ] (29)、前田 [ ] (32)、木村 [ ] (36)、門司 [ ] (37)、高橋 [ ] (38)、伊東 [ ] (44)、松原 [ ] (44)、古河 [ ] (46)、山本 [ ] (46)、川越 [ ] (47)、河野 [ ] (49)、



—総会特集—

OB会総会準備委員会活動報告

総会準備委員会実行委員 山本 ( 46)

(1) 自動車部OB会総会の中京地区開催決定

昨年2月に嘉村先輩( 33)から「平成17年度の自動車部OB会総会を中京地区で開催してくれないか」というご依頼が中野幹事の方にありました。さっそく、中京地区のOBの方々にメールでご意見を伺いましたが、全員一致でやろうということになりました。

(2) 総会準備委員会のスタート

2004年10月に総会準備のための第一回会合を名古屋市で開催いたしました。この会合で準備委員会の設置と中野委員長、高橋副委員長をはじめ総勢9名の実行委員を選任し活動を開始しました。

委員長・中野先輩( 25)、副委員長・高橋先輩( 38) 実行委員・山本( 46)、河野( 49)、永田( 52)、近藤( 54)、川村( 57)、小川( 63)、御領( H2)の各氏です。

第一回の準備委員会は中野委員長の会社で開催しました。以下第二回・トヨタ自動車のカバハウス、第三回・デンソースクエア、第四回・金泉閣で行いました。

(3) 開催日、開催場所の決定

2005年2月、第二回準備委員会で、開催日、場所を決定しました。ちょうど万博の開催時期でもあり、オ

プションとして、万博観覧を決めました。このため開催日は夏休み後の9月、万博会場に最も近い天然温泉である猿投温泉に開催場所を決めました。せっかくの温泉、万博観覧ということで、ご夫婦参加を決議し、案内を出すことにいたしました。

(4) 準備の本格的始動

同時に原田顧問、徳尾特別顧問、現役主将の招待を決議しました。幸いにも皆様快くご出席いただきましたことにありがとうございます。原田顧問におかれましては、奥様ご入院の非常事態にもかかわらず、日帰りでも参加したいとお言葉をいただき、感謝に耐えません。

最後の第5回準備委員会の後、本番を迎えました。

ここで是非報告しておきたいのは、このように進行をはかどることができたのは、メールの活用でした。こうした経験から今回配布資料の「OB会名簿」には、住所、電話番号のほかにメールアドレスを掲載いたしました。皆様のご利用を期待しますとともに、住所不明者の所在連絡、また住所やアドレスの変更等がございましたら、ご一報いただきたいと存じます。ありがとうございました。

—自動車部OB会総会準備活動記録—

- 2003.3.29 自動車部中京地区OB会開催
- 5.10 明専会中京地区総会
- 2004.2.8 嘉村先輩から総会準備の依頼
- 5.15 部OB会総会の中京地区開催了承回答
- 6.7 明専会中京地区総会
- 8.30 部OB会総会の中京地区開催案内
- 10.3 第一回総会準備委員会開催(名古屋市)
- 11.20 三郎さん古希のお祝い
- 2005.2.12 第二回総会準備委員会開催(豊田市)
- 9.6 自動車部OB会総会関係資料発送
- 3.10 自動車部OB会総会案内状発送
- 3.31 案内状回答締め切り
- 4.16 第三回総会準備委員会開催(刈谷市)
- 5.28 参加者への案内状(No.1)
- 6.26 参加者への案内状(No.2)

- 7.23 第四回総会準備委員会開催(豊田市)
- 8.13 参加者への案内状(No.3)
- 8.22 第五回総会準備委員会開催(名古屋市)



総会での準備委員



『OB会総会』準備～総会当日・・・

17年総会会計 御領 ( H2)

昨年10月、当時、社内で他部署の部長をされていた河野先輩から総会の準備委員を引き受けて欲しいとの依頼があり、同期の小川君も準備委員になっていた事もあり、引き受けることにしました。

まずは、2月の第2回準備委員会の会場探し・・・あわせて新年会も行いたいとの要望に応え、会社関係の施設を予約。会議が予定より長引いて、予定時刻になっても会議室の鍵が返却できず、管理者の方から少々ご指導を頂きましたが、無難に終了。

次は、300名を超えるOBへの案内の発送。近所のコンビニで往復はがきをかき集め、印刷と投函。住所録のデータやタックシールは嘉村先輩はじめ、諸先輩の協力があったので簡単なパソコンの操作で済みました。この辺で私の仕事も山を越えたかなと思ったら・・・次は会計！？

今回、会計を予定されていた西先輩が国家試験で忙しいため、出来ないとの事。「今後もあるので、若手はどう？」との意見に、準備委員のみなさんの視線は一斉に私に集中・・・断る理由がみつかりませんでした。今後のことも考え、『自動車部OB会中京支部』の口座を開設しようとしたのですが、これが、一番面倒でした。法人(団体)名義だと、やれ会則だのどんな団体だのと根掘り葉掘り・・・平日に3回ほど足を運び、流星を持ち込んで、ようやく開設できました。架空口座設定の防止だと説明されましたが、最初からちゃんと必要事項の説明があれば、3回も足を運ぶ事はなかったでしょう。

会費入金の催促をしながらも、あとは、口座を確認しつつ、総会の開催を心待ちにするばかりでした。直前になって急遽欠席された方がみえて、予算とにらめっこ

しながら、会場とのやりとりと返金について調整がありました。

総会は9月3日、万博会場近くの、愛知県豊田市、猿投(さなげ)温泉の金泉閣で開催されました。顧問の原田教授、特別顧問の徳尾さん、また現役主将の徳永君にもご出席頂き、総勢29名で行われました。中野準備委員長の開会の挨拶、松尾会長、原田教授、徳尾さんのご挨拶、廣田副会長の乾杯のご発声に引き続き、徳永君から現在の自動車部の状況説明、前田事務局長より、OB会の活動報告、会計報告が行われ、後藤会計監査役からの報告にて総会を終了。その後の懇親会では、みなさんの自己紹介に続いて、会場のあちこちで昔話に花が咲いていました。その後の2次会でも話は尽きず、深夜まで盛り上がっていました。

今回の総会は、中野準備委員長をはじめとする準備委員を含めて、ご参加いただきました皆様のおかげで、盛会のうちに終了することが出来ました。本当に皆様へ感謝いたします。とりわけ山本先輩には、準備委員会の招集、会場の下見、名簿・総会資料万博関係の細部にわたる資料収集・作成まで幅広くご尽力を頂きました。

尚、当日、松尾会長よりご厚志を頂いておりましたが、皆様へ紹介するのを忘れておりましたので、この場を借りて、お礼を申し上げたいと思います。

唯一、心残りは会場に準備された『平成17年 明専・九工大自動車部OB会総会』の看板の仕上がりが芳しくなかったことでしょうか。

今回は、関東での開催という事で、更なる参加者の増加と盛会を期待したいと思います。 2005.9.6

H17年自動車部OB会総会収支報告書

H17.9.6

収 入			支 出		
費目	内容	金額	費目	内容	金額
OB総会会費	17,000×31名+13,000×1名		総会費用	宿泊・宴会費(手数料込み)	
本部負担金			通信費	往復はがき、書類・写真郵送	
寄付金	松尾様		事務用品	用紙・プリンタインク	
			会議室費	準備委員会(2/12、4/16)	
			飲食費	二次会用	
			交通費	バス高速代(9/3,9/4)	
			返金	欠席者返金(手数料込み)	
			繰越し	OB会会計へ(坂田様寄付込)	
合 計			合 計		



(日時) 2005年9月3日17:00~18:00

(場所) ホテル 金泉閣 314号室

(出席者) 松尾会長、廣田副会長、前田事務局、  
後藤会計監査、伊東幹事、門司副幹事、中野幹事、  
高橋副幹事、(オブザーバー)古河氏、河野氏、山本

1. 役員会の成立要件について

会則にはないが、本部、支部役員総数14名の過半数以上の出席又は委任状で役員会は成立しその過半数以上の賛成で案件は成立する。

議長は会長があたる。(会長不在の場合は副会長が代行する)→嘉村幹事(当日欠席)の上記提案を全員一致で賛成した。

本日は上記役員8名と委任状3通(立松幹事、鳥飼副幹事、桂副幹事)合計11名の参加なので過半数以上となり役員会は成立する。

2. 総会の成立要件について

OB 会正会員:会員名簿に記載者で総会案内の回答を出した者とする。

総会案内はがきは不参加者においては委任状となるよう編集する。

総会の成立:正会員の過半数以上(委任状を含む)とする。

議案の成立:出席者の過半数以上

議長は会長があたる。(会長不在の場合は副会長が代行する)→嘉村幹事(当日欠席)の上記提案を全員一致で賛成した。

本日は正会員167名中、参加29名と委任状126通計155名なので過半数以上となり総会は成立する。

3. 流星17号の発行について

発行は総会直後であるが、嘉村幹事病気のため若干遅れる可能性あり。

4. 次回総会の開催について

関東地区で提案されたが、門司副幹事から引き受けていただく由の発言を頂いた。

5. 新役員人事について

本部役員

会長	松尾	( 25)	留任
副会長	廣田	( 29)	留任
副会長	中野	( 25)	新任
事務局	前田	( 32)	留任
会計・会誌	嘉村	( 33)	留任
会計監査	後藤	( 28)	留任

地区役員

九州地区幹事	伊東	( 44)	留任
副幹事・会誌	桂	( H7)	留任
関東地区幹事	門司	( 37)	新任
副幹事	砂本	( 39)	新任
中京地区幹事	中野	( 25)	留任・兼任
副幹事	高橋	( 38)	留任
関西地区幹事	立松	( 22)	留任
副幹事	古河	( 46)	新任

役員辞任の場合は後任推薦にて受理されるものとす

6. 総会決議について

上記役員会決定事項を総会にはかり、活動結果、活動計画、会計報告、会計監査、役員人事案について、いずれも満場一致で承認された。 以上

— 報告 —

自動車部OB会会計報告

OB会会計担当 嘉村

平成16年度決算報告 16.12.31

平成17年度予算案 17.9.3

収	入	支	出
繰越金		用紙料金	
会費		「流星16号」経費	
		繰越金	

収	入	支	出
繰越金		17年総会事務費として	
会費			
振替見込会費		「流星17号」経費	
		予備費	



## 新莊先生の思い出

城 ( 29)



学生時代以降、私の人生の節目でいつもお世話になっていました新莊先生が天寿を全うされました。謹んで御冥福をお祈りします。

私が自動車部キャプテンのときの部長であり「歯車」「自動車」などユニークな講座も受講させていただき、卒業研究「スグバカサ歯車の連続創成歯切り法」で指導賜りました。現場が好きで鎮守先生と実験室におられた姿を今でも思い出します。

先生は理論を具体化するために大学を去り富士自動車㈱へ移られましたが、私も同じ会社に勤めることになり、その後、先生の研究を企業化するために設立された東洋歯車㈱に私も入社、その成果を昭和37年大阪の国際見本市で世界に示されました。このとき先生のクラウンで往路はご長男の啓一さんも一緒にドライブしました。最後に勤めた会社でも技術顧問として定期的に来社されていました。

企業人相手には、理論的には難しい歯車だが実用的にはどうすればよいかと言うことをたくさん教えていただき

ました。

先生の書斎は天井まで資料で埋まり、押入れの中にも一杯でしたがよく整理されており、必要なときに適切な情報を提供してくださり助けていただきました。

学生時代から、活字になった資料だからと言って全面的には信用するなど言われたことも私にとっては非常に役立つ言葉でした。

大事な手紙は総て複写便箋を使って書くことは、先生の真似をしたもので現役時代までは実行していて役に立ちました。原本が綴じ込んであり時系列的な証拠になりますので。

結婚を勧めていただき仲人をお願いしたのも先生で、銀婚式には嫁さんを連れて海外旅行に行くようにと言われていましたが成し得ませんでした。

先生は何事にも目標を決めて計画的に進められるタイプだったと思います。少しでも先生のようにになりたいと思っていましたがそのまま歳を重ねてしまいました。これからは先生にあやかり元気で長生きすることが御恩に報いることだと思って過ごします。

## 自動車部OB会元幹事川崎 氏 ( 32) を偲ぶ

部誌担当 嘉村 ( 33)



3月はじめ東京のM氏から電話があった。「川崎さんが亡くなったのをご存知ですか」、「え？ウソ」などと不謹慎な返事をしてしまった。告別式の当日葬儀の直前であった。深夜奥様に電話をいれ欠礼を詫び、最後の様子を伺った。2月22日に、急性脳内出血(動脈瘤)で他界されたとの事、あっという間のこととか。しばらく言葉が出なかった。

自動車部OB会と氏は私以上に深いかかわりがあり、一時低調だったOB会活動に今日程の活気を取り戻したのも喜多村大先輩、石飛、松尾、中野、廣田先輩などからもご協力を頂いたが、川崎氏の情熱に負うところが大きいと確信している。

現在の部OB会の基礎は昭和42年、彼と木村氏( 36)が自動車部のOB会を会則まで作って発足したことに始まり、門司氏( 37)と共に東京での部OB会復活を果たすなど会のともし火を絶やさなかった。

彼と私は、昭和28年4月、九州工大工業化学科へ一緒に入学し、同じ日に自動車部へ入部し、同じよう

に幹事として部室に入らされ、ほとんど同時に運転免許も取得した。一部の単位は異なっていたが、教養課程ではほとんど同じように授業を受け、同じようにサボり、同じように自動車の整備やバイト運転をし、よく飲みに出かけた。汚れた角帽、油まみれのエンカン服に同じ色のジャンパーを羽織り、先輩からは「お前ら、双子か」とまで言われたそんな二人であっただけに、訃報のショックは言葉では表せない。

彼は学業の成績が優秀だったから、就職後も意欲的に仕事を常に成果をあげ、家庭を大事にし、彼の財布にはいつも子供や孫の写真があった。

明専会理事をつとめ、東京・鳳龍クラブの運営にも尽くすなど、本業以外のこともまめにこなしていた。

川崎氏はほとんど自覚症状がなかったと思う。七夕会(化学出身会)で会っても、「俺はどこも悪いところが無い」が口癖であった。同期会で遅くまでアコーデオンにあわせて歌っていた氏の顔がまだ目に残っている。いつも眼鏡の奥で笑顔を絶やさなかった彼にはもう会えないのか！洵に残念でならぬ。 合掌





自動車部OB会総会参加全員



原田教授

徳尾社長



松尾会長



中野副会長



廣田副会長



前田事務局長



後藤会計監査



徳永主将



門司・伊東幹事



高橋副幹事



古河副幹事



尾辻前副会長



坂井典次氏



川越光廣氏



乾杯・総会・宴会風景



## 自動車部OB会員名簿

2005.9.18

学科	卒年	氏名	郵便番号	住所	電話	E-mail
----	----	----	------	----	----	--------



学科	卒年	氏名	郵便番号	住所	電話	E-mail
----	----	----	------	----	----	--------



学科	卒年	氏名	郵便番号	住所	電話	E-mail
----	----	----	------	----	----	--------



学科	卒年	氏名	郵便番号	住所	電話	E-mail
----	----	----	------	----	----	--------



学科	卒年	氏名	郵便番号	住所	電話	E-mail
----	----	----	------	----	----	--------



学科	卒年	氏名	郵便番号	住所	電話	E-mail
----	----	----	------	----	----	--------

#### 自動車部OB会からのお願い

9月3日行われたOB会役員会で「会員」の資格について論議され、会費完納の会員を正会員、会費未納でも「総会案内」などに回答を寄せた方は準会員として今後、各種案内や会誌「流星」を送付することになりました。現在会費未納の方には会費納入に協力をお願いするとともに、誤記や不明者の所在などお気づきの方は編集部までご連絡ください。

また、「個人情報保護法」の施行にともない、名簿不記載、一部削除のご希望の方は編集部・嘉村までお知らせください。



## 特別会員名簿

氏名	郵便番号	住所	電話番号

物故者名

--

不明者

--

### —お悔み—

元部長河村 先生が昨年9月お亡くなりになりました。先生は昭和28年から新荘先生の後を引継いで自動車部の顧問をされていました。昭和40年、部誌「流星創刊号」には発刊を祝して文をお寄せいただいています。昭和41年、中田先生にバトンタッチするまで多くの部員がお世話になりました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。 編集部

### —編集後記—

自動車部OB会総会、お蔭様で盛会裡に終了しました。公私ご多忙の中ご参加頂いた皆様、準備に一年半近くもご苦勞なされた準備委員会の皆様、ありがたく心からお礼申し上げます。

不肖私、自己健康管理の不行き届きから入院で欠席し、総会場参加の皆様のプーイングの嵐だったとか、逢わせる顔もありません。

会誌「流星」も17号を数えるまでになりました。後継者の育成が急務と言いつつありますが名乗り上げる方がいません。編集に興味があり、「自動車部OB会を俺が支えてやろう」という方は手を上げてください。初級程度のパソコンが使えればOKです。

「流星18号」の特集は、「ラリーとわが人生」主将経験者の座談会または寸談リレーを企画しています。関連のご意見、アイデアをお寄せください。 編集担当・嘉村

発行日	平成17年10月1日
発行者	九州工業大学責善会自動車部 主将 徳永 明専・九州工大自動車部OB会 会長 松尾
印刷	(株)印刷工房フジワラ
編集発送	地区副幹事 嘉村
振替口座	加入者名嘉村